

平成 30 年 6 月 吉日

各都道府県・指定都市教育委員会  
各都道府県・指定都市・中核市知事部局  
御担当者様

文部科学省国際統括官付  
近畿 ESD コンソーシアム  
奈良教育大学 ESD-SDGs コンソーシアム

**文部科学省 平成 30 年度 ユネスコ活動費補助金  
「グローバル人材の育成に向けた ESD の推進事業」  
ESD ティーチャープログラム（研修） 教員募集のお知らせ**

**【研修Ⅰ】SDGs セミナー      【研修Ⅱ】ESD ティーチャープログラム**

拝啓 初夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

今夏、近畿 ESD コンソーシアム、ならびに奈良教育大学 ESD-SDGs コンソーシアムでは、教員対象の「ESD ティーチャープログラム（研修）」プログラムを、北海道羅臼町・宮城県仙台市・東京・奈良県広陵町・長崎県長崎市の各会場にて開催いたします。

本プログラムでは、国連が定めた 2030 年までの達成目標 SDGs（持続可能な開発目標）に貢献する教育として、新学習指導要領に基づき、今後全国で取り組まれていく ESD（持続可能な開発のための教育）を実践できる教員を養成するための研修プログラムです。

現在、半日の「研修Ⅰ：SDGs セミナー」（30 名程度）、ならびに二日間にわたる「研修Ⅱ：ESD ティーチャープログラム」（先着 10 名程度・原則 35 歳以下）にご参加いただける教員を募集しております。（参加はいずれか一方でも可）詳細は添付の書類をご覧ください。

以上について、貴管内の小学校・中学校・高等学校等の教職員の皆様にご周知いただけますと幸甚に存じます。

なお、各都道府県教育委員会におかれましては、管内の市町村教育委員会（政令指定都市を除く）への周知に御協力をいただけますと幸いです。

お力添えを賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬 具

**【お問い合わせ】**

近畿 ESD コンソーシアム

奈良教育大学 ESD-SDGs コンソーシアム

担当：河野、中澤

Eメール：[shinya.kouno@nara-edu.ac.jp](mailto:shinya.kouno@nara-edu.ac.jp)（河野）

Tel・FAX 0742-27-9269（中澤）

（文部科学省担当）

文部科学省国際統括官付（日本ユネスコ国内委員会事務局）ユネスコ振興推進係 担当：田村、宮国

Eメール：[jpnatcom@mext.go.jp](mailto:jpnatcom@mext.go.jp)

Tel 03-6734-2602

## E S Dティーチャープログラム 実施要項

### 1. 目的

本プログラムは、平成 30 年度文部科学省ユネスコ活動費補助金「グローバル人材の育成に向けた E S D の推進事業」(2) E S D の深化による地域の S D G s 推進事業 [2] 学校教員及びユースを対象とした E S D の実践力強化、の補助を受け実施するものである。

2017 年 3 月に次期学習指導要領が公示され、「持続可能な社会の創り手」の育成が前文に明記された。今後、E S D や S D G s について体系的に学ぶことはますます必要とされていくと考えられる。ユース世代の育成は、D E S D の後継プログラムであるグローバル・アクション・プログラム (G A P) において、5 つの優先行動分野の一つとして挙げられているが、その中でも若手教員の E S D にかかる授業実践力の向上は喫緊の課題であるといえる。

このことから、次の 2 つを目的として、本プログラムを実施していく。

#### (1) ユース教員の E S D 実践力の強化

学校教員を対象に、S D G s についての理解を深め、E S D 授業実践に取り組む力量の形成を図る。

#### (2) 各地域での E S D 実践研究グループの構築

本事業において育成した E S D 実践者による研究グループを構築し、事業終了後も各地で E S D の実践研究が継続的に実施されることを目的とする。

### 2. 主催

近畿 E S D コンソーシアム、奈良教育大学 E S D - S D G s コンソーシアム

### 3. 後援 (予定)

日本 E S D 学会、E S D 活動支援センター

### 4. 事業計画

#### (1) 実施日、場所

【研修Ⅰ】北海道羅臼町 7 月 24 日、東京都 6 月 30 日、長崎県長崎市 7 月 22 日

【研修Ⅱ】北海道羅臼町 8 月 6, 7 日、宮城県仙台市 8 月 10, 11 日、東京都 8 月 2, 3 日、奈良県広陵町 (現在調整中)、長崎県長崎市 8 月 23, 24 日

#### (2) 対象

主に若手教員

#### (3) 実施計画

① S D G s セミナー : S D G s の概要の理解

② E S D ティーチャープログラム : E S D 理論研修、ファシリテーション研修、E S D 学習指導案の作成

③ E S D 学習指導案の相互検討

※作成した E S D 学習指導案をもとに、奈良教育大学学長より E S D ティーチャーの認定証が授与されます。